

XCコンテストって?

国内外でフライトログを共有する便利なサイトはいくつかあるが、XContest(以下XCコンテスト)は世界でもっともメジャーなハングとパラを含めたオンライン・クロスカン トリー・コンテスト兼、フライトログ 共有サーバーだ。

XCコンテストは、もともとはチ エコ国内のXCリーグのために作ら れたXCランキングシステムだが、 2019年現在、27の国のオフィシ ャルなXCランキングサイトとして 活用されている。

XCコンテストに登録すると、自 動的にWorld XContest(以下、ワ ールドXCコンテスト)への参加権が 得られ、フライトログを提出すると フライト結果に応じたベスト6ポイ ントが集計され世界順位が付く。

参加登録しなくてもフライトロ グ検索機能が使えるので、使い方次第ではとても有効なサイトなのだ。

例えば、初めて行く海外のエリ ア、事前にエリアを検索して登録してあるフライトログをチェックすることで、実際にフライトする前にイメージトレーニングができる。

日本語テスト版がXジャパン2019

XCコンテストのウェブサイトの表示言語はチェコ語、英語など欧米5言語。そのためこれまで日本では馴染みがなく、活用しているパイロットも少ないというのが現状だった。

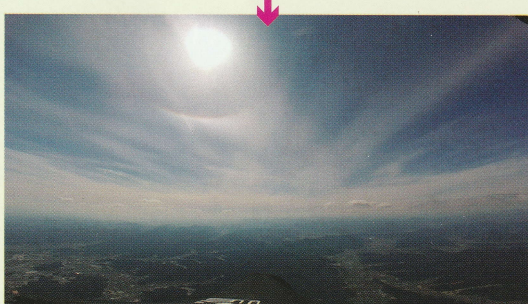
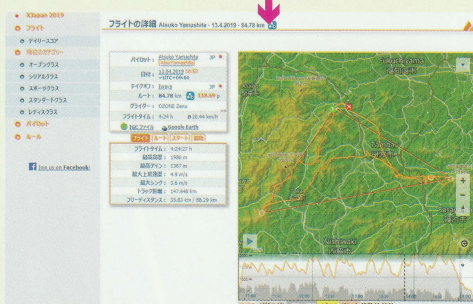
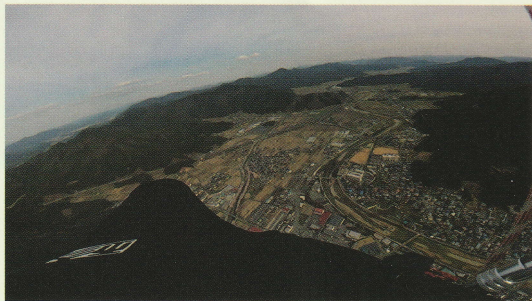
そこで2019年5月、ボランテ ィアによりパラグライダー限定の日 本語仕様である「XJapan2019」(以

下、Xジャパン)がテストイベントとして立ち上げられた。読み方は「エックスジャパン2019」、覚えやすいようにベタな名称となっている。6月の時点ですでに40名のパイロットが参加し、260のフライトログ

が登録されている。

ネーミングがクロスカン トリーなので、「自分には関係ないよー」と思うことなかれ。プライベートなフライトログブック的に活用でき、世界中のパイロットに向けてエリアのバ

フォーマンスを公表することにもなる。是非、XCコンテスト日本語版に登録してみよう。今回はその使い方を、初めての方でもすぐに活用できるように、順を追って説明していこう。



写真は、4月13日に山下敦子さんが岩屋山で達成した84 kmのFAIトライアングル。ログはXジャパン2019にアップされている。これほどのビッグフライトでなくても、楽しいフライトができればあなたも気軽にログをアップしてみない?

できた!

XCコンテスト[日本語版]

XJapan2019

世界でもっともメジャーなXCオンラインコンテスト、「XContest」。

特にヨーロッパを中心にその存在は完全に浸透しており、会心のビッグフライトを公開&共有する目的でアップするのはもちろん、ログブック代わりに活用しているパイロットも多い。

その日本語版テストサイトが、5月に立ち上がった。

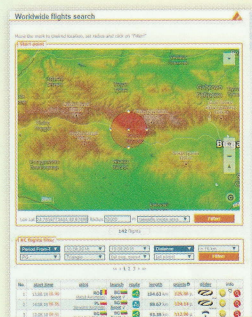
言葉の壁がなくなった今、この便利なサイトを使わない手はない!

構成: Toshihiko Ujita

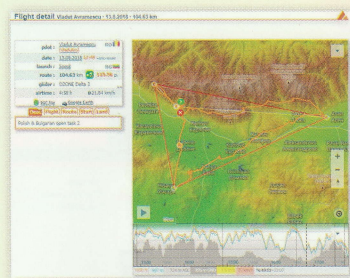
エリアを指定して フライトログを検索する

- Pilots
- Rules
- Useful Features

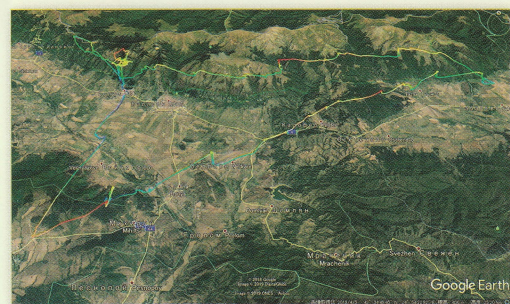
この機能は特に海外のフライトツアーや海外コンペが予定されている場合にイメージトレーニングとして活用できる。地図からの検索で、そのエリアのフライトログが閲覧できる。左の窓のUseful featuresの下に[WorldWideFlightSearch]を選ぶ。



地図画面を拡大、縮小、スクロールしてフライトエリア周辺(可能ならテイクオフ)を表示させ、クリックしてピンを立てる。明解でなければ付近でよい。ヒットしなければ検索半径を大きく取ってもよい。テイクオフは半径内外で検索オプションも可能である。例としてブルガリアのソポト。2018年8月に開催されたブルガリア・ポーランドオープンのコンペ期間で検索してみる。



良いフライトを優先するために、テイクオフから10km以上飛んだ軌跡を表示することにする。ここでは数10件のリストが表示された。ランディングに戻るような軌跡を抽出するために、フリーディスタンスは除き、トライアングルまたはFAIトライアングルから選ぶことにする。そうすると数件に絞られたので代表的なフライトを詳細に閲覧する。詳細の見方は前述と同じ。

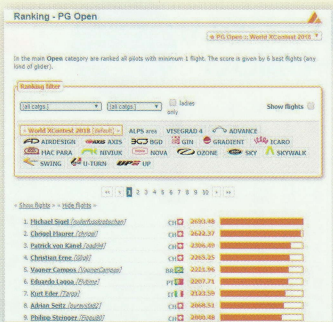


グーグルアースを利用すれば、3Dでフライトを見ることができる。

XCコンテストとして順位の見方

- Ranking categories
- PG Open
- PG Serial
- PG Sport
- PG Standard
- PG Women

WorldXCContest(以下、ワールドXCコンテスト)では、登録された全世界のフライトを順位付けしている。最初のページに出てくるものがワールドXCコンテストである。XCコンテストの順位は左の窓から閲覧でき、パラグライダーは認証によって6つのクラス(下のクラスは上のクラスに含まれる)に分かれている。オープン(open)クラスはEN-A~CCCコンペ機を含んだすべてのモデルが対象、シリアル(Serial)クラスはA~D、スポーツ(Sports)クラスはA~C、スタンダード(Standard)クラスはAとBで、トップから順に表示される。

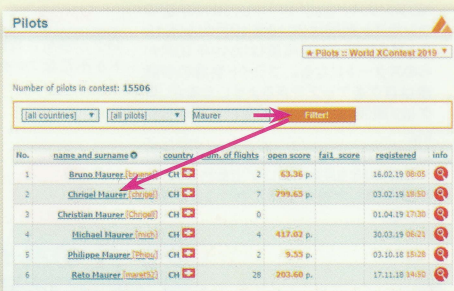
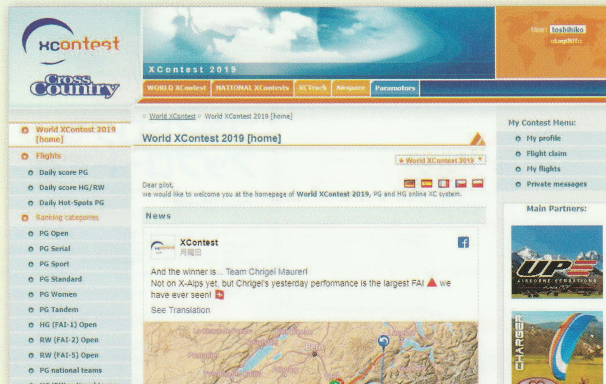


ここでも前述のように検索機能を使うるので、希望の方法で検索すればよい。

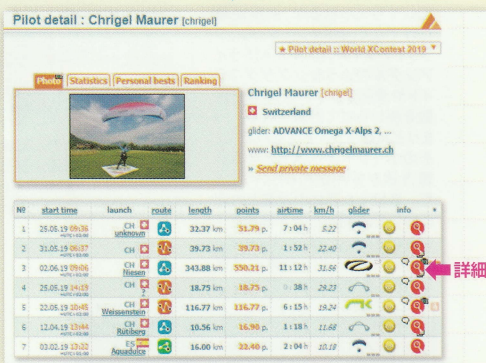
XCコンテストを 使ってみよう!

指定のパイロットのフライトログを検索して見てみよう

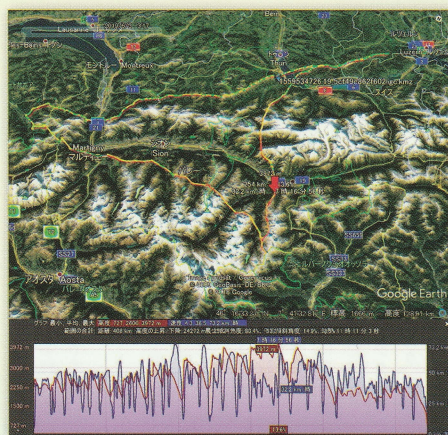
Xジャパンを利用する前に、母体であるXCコンテストの検索閲覧機能に少し触れよう。公開されているログを見るのに登録をする必要はない。サイトは『Worldwide flights search-XCContest』と入力し検索するか、ブラウザに直接『https://www.XCcontest.org/』と入力する。



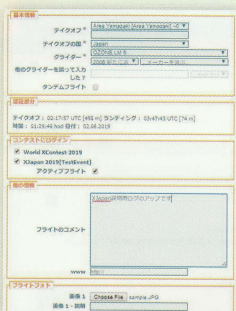
例えばエクスアルプスのチャンピオン、クリスチャン・マウラー(Chrigel Maurer)で検索してみよう。フライト日[period From-To]、フライト形式[all route Type]、飛行距離[All distance]、などでも絞込が可能だ。左の窓の[Pilots]を選ぶと、名前入力の画面が出てくる。Maurerでと入力して[Filter]をクリックして検索をかけるとすぐに、同名のパイロットが複数表示されるので、Chrigel Maurerをクリックして選択する。



複数のクリスチャンマウラーのフライトログがリストされるが、ここではもっともポイントの高いログの詳細を見てみよう。



もしグーグルアースでさらに詳しく見たい場合は、KMLボタンを押とグーグルアースで3D表示できるKMZファイルがダウンロードできる。



その5 フライトログを アップロードする

フライト登録の申請

フライトログのアップロードにはICGファイルが必要です。
ICGファイルは、XContestの専用フォーマットで保存されたフライトログファイルです。
ICGファイルのアップロードには、ICGファイルを選択してアップロードする必要があります。

ICGファイルを選択してアップロードしてください。

ICGファイルを選択してアップロードしてください。

[フライト登録の申請]に入り、icgファイル
を選択し[送信]ボタンを押す。

フライト登録の申請

フライトログのアップロードにはICGファイルが必要です。
ICGファイルは、XContestの専用フォーマットで保存されたフライトログファイルです。
ICGファイルのアップロードには、ICGファイルを選択してアップロードする必要があります。

ICGファイルを選択してアップロードしてください。

ICGファイルを選択してアップロードしてください。

ログが解析され期限切れやGレコー
ドが不正なファイルは警告が出る。

その6 フライトのポイントと ランキングを確認する

オープニング

順位	名前	タイム	ポイント	タイム	ポイント
1	13.01.19	13.01.19	13.01.19	13.01.19	13.01.19
2	13.01.19	13.01.19	13.01.19	13.01.19	13.01.19
3	13.01.19	13.01.19	13.01.19	13.01.19	13.01.19
4	13.01.19	13.01.19	13.01.19	13.01.19	13.01.19
5	13.01.19	13.01.19	13.01.19	13.01.19	13.01.19

1人につき6個のフライトログに応じたポ
イントが合計され、左枠のクラス別の
順位表に掲載される。詳細表示を押すと
全フライトリストが表示され、基本的な操
作は前述のXCコンテストと同じだ。

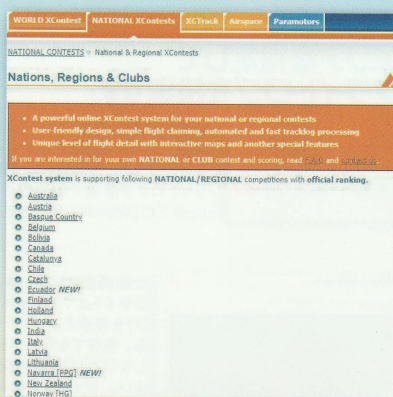
ランキングのポイントは距離に
応じて与えられるが、直線距離
だけでなく、3ポイントターン、フ
ラットライアングル、FAITライ
アングルのようなジグザグフラ
イトや周回フライトも、距離と係
数を掛けられて計算される。つ
まりどんなフライトでも成立し、
そのポイントがベストとなる計
算方法が採用されるということ
だ。表はそれぞれの定義と内容
について説明したので参照して
いただきたい。なお、Xジャパ
ン2020ではルールと係数の見直
しがされる予定となっている。

フライトタイプ (自動計算)	ビタグラフ	成立条件	kmあたりポイント倍率	Xcontest	XJapan2019
オープニング	2点ベストポイント	-	1	-	1
フラットライアングル	3点ターンポイント	1	0.8	-	-
FAITライアングル (一巡最速が全体の 28%以上)	20%以下のクロージング	1.2	1.2	-	-
	5%以下のクロージング	1.4	-	-	-
	20%以下のクロージング	1.4	1.4	-	-
	5%以下のクロージング	1.6	-	-	-

オープニング、フラットライアングル、FAITライアングルに関する補則と説明は略す

Xジャパンに 参加しよう！

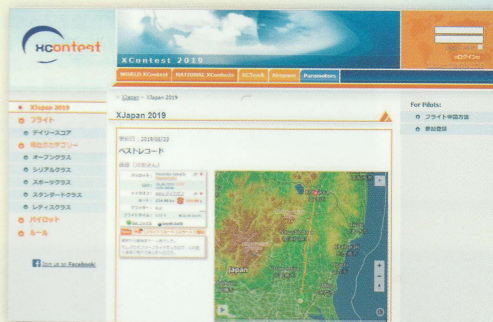
Step 2



XCコンテストの基本的な閲覧の方法が理解できたら、
日本国内のXCコンテスト、Xジャパンに参加してみよう。
タブから、個別のコンテストにおける順位が閲覧できる。
ログは親サイトであるワールドXCコンテストとの共有だ
が、ポイント倍率は個別のコンテストで変わる。
Xジャパンは次年度(2019年10月より)ここからリンクさ
れる予定だ。

その1

Xジャパン2019を表示する



XJapan2019[TestEvent]を表示する。前述のようにXジャ
パン2019はテストイベントの位置づけなので、現在はXCコン
テストからリンクされていない。
ブラウザに直接「https://www.xcontest.org/xjapan/」と入力
し表示させると、よりシンプルな日本語サイトが表示される。

その4

フライトログの申請 —どのようなフライトログが 提出できるか?—

Xジャパン2019では、フライト内容や
距離による審査は行わない。ログの
ポイントは、もっとも得点の高い方法
で自動計算される。ただしアップロ
ードできるフライトログはGレコー
ド(鍵)付きicgファイルだけである。

その2

XCコンテストと Xジャパン2019に 同時登録する

コンテスト登録 XJapan 2019[TestEvent]

コンテスト登録 World XContest 2019

両方にチェックを入れる

ユーザー名: [] パスワード: []

確認パスワード: []

全て半角英数字を入れる

名前: [] 姓: []

生年月日: [] 性別: []

日・月・年順

パスワード: []

パスワード: []

誰でもできるわかりやすさが良い! 利用者の 声 思わぬ棚ぼたポイントも嬉しい

多賀純一さん

山下敦子さん

フリーディスタンス(直
線距離の、いわゆるクロ
カン)に向かないエリアで
も、より難易度の高いトラ
イアングルを達成すること
で係数高くポイント計上され
るところはモチベーションに
なります。またま周回したフ
ライトをFAITライアングル
として記録してもらえたり、
記録にできた棚ぼた感も嬉し
いです。

木村亜希子さん

世界共通なシステムな
の、良いですね。X
ジャパンは分かりやす
さ、まずはやってみようと思
う感じ。誰でもできるの
が嬉しい。



Gレコード(鍵)付きigcファイルとは?

初めて使う人にとって、もっとも理解しにくいところがログファイルの作成だろう。やっかいなのは、ログファイルはGレコード(鍵)付きigcファイルが必要なことだ。国内で共有されているHogMapはカシミールから変換作成したTRK形式のファイルをアップロードすればよいが、残念ながらこのファイルは使えない。

フライトログデータは国際標準であるGレコード付きigcファイルしか受け付けられないのだ。igcファイルは簡単に改変できるため、一文字でも変更すると最終行に書かれている暗号文字列であるGコードと不整合になり、認証されない仕組みだ。

慣れるまで面倒かもしれないが、世界標準であり、コンペやXCの記録を目指すパイロットにとっては必須の知識だ。

鍵付きigcファイルを作ってみよう!

有効なigcファイルを作成するGPS、または書き出せるソフトのリストはFAIのページに掲載されているので確認いただきたい(<http://vali.fai-civil.org/validated.html>)。

fai-civil.org/supported.html)。

●GPSDUMP (http://www.gpsdump.no/body_gpsdump5.htm) を使って書き出す(FLYTEC、FLYMASTERなどのGPSDUMP対応機種)

●GPS自身がigcログを作成するもの。PCに繋いで直接取り込める(BlueFly、XCTRACER、SkyBean、Naviterなど)

●igcログが自動的に作成されるスマホのナビゲーションアプリ(XCSOARなど)

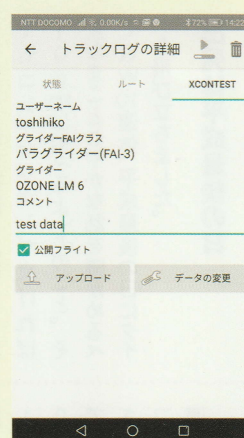
●スマホのXCTrackやLivetrack24アプリから取得したigcログをアプリから直接アップロードする方法。詳細はマニュアルを見るか、ネットで調べるか、あるいはディーラーに問い合わせいただきたい。WEB検索してもいい。

入手できたigcファイルが有効かどうかはonlineigcvalidation (<http://vali.fai-civil.org/validation.html>) で確認できる。どうしてもわからない場合は、フェイスブックグループ『XCTrack2XJapan』に参加し、問い合わせいただきたい。

便利なツールと関連サイト

●XCTrack

XCTrackはXCコンテストの開発チームが配布しているアンドロイドアプリであるため、ログを直接XCコンテストにアップロードできる。現在もっとも簡単にログがアップロードできるツールでもある。GooglePlayまたはXContestからリンクされている。



●フェイスブックグループ:

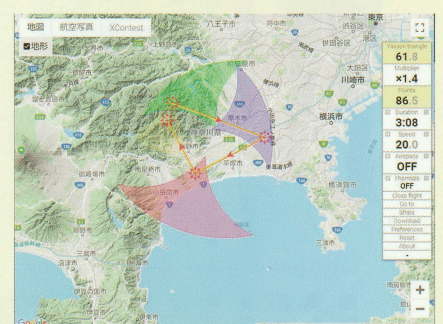
XCtrack2XJapan

(XCTrackJapaneseから改名)

XCトラックとX日本の情報共有グループフォーラム。悩んだら、ここで質問することができます。

●XCPlanner(<https://XCplanner.appspot.com/>)

フライトプランを検討するサイトで、フライトパターンに対するポイント計算が簡単にシミュレートできる。PreferenceからXContestを選択する。



X日本のこれから

X日本2020は、2019年10月のログから開始される。多少のルール変更が検討されている。X日本は現在のところ無料で利用できるが、親サイトのXCコンテストでは、一人につき3ユーロのシステム利用料が必要となっている。今後利用者が拡大していけば、非営利であるがリーズナブルな参加料などを検討中である。具体的な内容は未定なので、決定次第アナウンスされる予定となっている。

「XCTrack」を「XJapan」の「中の人」に聞く!「何年も前からある良いサイトなのに日本では話題にならないので自分で立ち上げるしかないと思った」氏田敏彦さん

自分ではニュアンスが違っているので、自然な言葉に整合させるのに翻訳期間

今回スタートした「X日本」、また、同じくXCコンテストチームが開発したアプリ「XCトラック」。この2つの日本語版の開発をボランティアで手がける氏田敏彦さんに話を聞いてみた。

— 今では多くのパイロットが使っているアプリXCトラック。日本語版がリリースされてから一気に広がった感がありますね。

ある海外コンペでGPSナビの調子が悪くなって困っていたら外国のパイロットに勧められ、半信半疑で使ったのが10年前です。すぐにPWCのトップパイロットたちの間でも使われ始めたようです。やっぱり凄いなだと思っていました。日本ではさほど話題になりませんでした。日本語なら日本人もクロカンやコンペで役立てられると思い

自分で翻訳することに。英語の直訳ではニュアンスが違っているので、自然な言葉に整合させるのに翻訳期間

は約1カ月かかりました

— この優れたもののアプリが無料というのすごい。10万円以上で売られているGPSやフライトコンピュータと遜色ないですね。

バージョンが上がれば機能と表現力は市販のものと同様か、それ以上になりました。特にレイアウトをその場で変更できるのは、これまでになかった特徴です。

一方、安定性の面では市販のアプリが上だと思います。XCトラックは動かすスマホによってクセがあったり、電池の持ちが十分でなかったりします。コンペの世界では、XCトラックでナビゲート。市販のアプリは必要な保険、という使い方が多

いです。

— 今回オープンしたX日本を立ち上げようと思った理由は?

世界的にはXCコンテストがメジャーで、有名選手も含め2万人が参加しています。それに関わらずこの有用なサイトを日本人はほとんど活用していませんでした。その大きな理由は、日本語でないからです。XCトラックが、日本語翻訳化されて以降急激にユーザー数が伸びたのも同じ理由です。

同じホームエリアで飛んでいるXCリーグ常連の多賀さんがすでにXCコンテストを使っていたので、日本版作るとどう?と聞いたところ、いいねと言ってくれたのがスタートです。ルールなどで悩んだら多賀さんと相談していますが、今後はもう1人バックアップのサーバー管

理者をつける予定です。

— 製作期間はどれくらいでしたか?

3月終わりにXCコンテスト側にメールで接触を始めたときには日本語訳だけと甘く見ていましたが、実際には独自サーバーを設定したり、HTMLやCSSの勉強も必要でした。4月の終わりにプロタイプが完成し、少し設定を見直してアナウンスしたのが5月です。

— 既存のフライトログサイトとの違いは?

Engageはカシミール形式のログを使うのですが、簡単に閲覧できる完全日本語の日本人向けです。一方、XCコンテストとX日本は、FAI-1ライアンクルを含んだ

フライトルールで自動集計されます。トライアング

ルを意識することで普段のフライトにも目標ができ、スキルアップにつながるかもしれません。また、ログが自由にダウンロードできるので、グーグルアース上で複数の軌跡を同時に比較することもできます。

— 直線距離でもトライアングルでも、日本記録と認められるには事前申請して立会人に来てもらったりと、煩雑かつ現実的でない手続きが必要なのがネックです。その点、X日本やXCコンテストは、フライト後にログをアップできるというのが良いですね。

操作も、実際に使ってみればシンプルで分かりやすいと感じると思います。どんどんログをアップしてみんなで盛り上がりたいですね。



フライト歴30年、コンペ歴10年。年間フライトは約120時間。愛機はオゾン・ゼノとLM6。職業は、事務機メーカーで特許の技術解析。